

## 第2回 コロナ時代が変える

# マザリング(mothering)・ファザリング(fathering)

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大(パンデミック)は、世界中でこれまでの社会・経済・政治を大きく変革させ、私たちの働き方や家庭生活にも大きな影響を与えました。これまで「当たり前」と考えられてきた出産・育児・家事に対する問題点が顕在化し、意識のアップデートが求められる中、乳房文化研究会では、「コロナ時代が変える私たちの生活と意識」をテーマに研究会を開催しています。

第2回目となる今回はコロナ時代が変える、コロナ時代だからこそ変えていく「マザリング・ファザリング」について、ともに考えてみませんか。

日時： **2021年 10月23日(土) 13:30~17:45**

Zoomウェビナーによるオンライン視聴（画像・音声参加無し、チャット・Q & A機能あり） 事前登録必要 参加費：無料

※右記の場所でも視聴できます。（株）ワコール新京都ビル スタディホール京都（JR京都駅より徒歩8分） 定員：30名

### 講師・講演テーマ

「『46歳で父になった社会学者』が  
育児を通して考えたこと」



工藤保則先生  
龍谷大学  
社会学部 教授

「性差別をなくすための、  
子どもへのメッセージ」



太田啓子先生  
弁護士  
(湘南合同法律事務所)

「コロナ禍で問われる  
『おかあさんのミカタ』」



高石恭子先生  
甲南大学 文学部 教授  
学生相談室専任カウンセラー

### パネルディスカッション

■コーディネーター：  
**米澤 泉** 常任運営委員

■パネリスト：  
**工藤先生、太田先生、高石先生**

### オンライン交流会

17:15~17:45 希望者のみ、画像・音声参加あり

乳房文化研究会

◎お申込は、乳房文化研究会のHP または右記のQRコードから。 会場参加の方は、裏面を参照ください。

※コロナ感染拡大状況等によりオンライン配信のみとなる場合もあります。

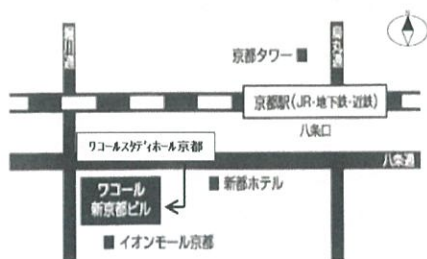
問い合わせ先：乳房文化研究会事務局（TEL 080-5784-0147：平日10時~16時） URL <http://www.wacoal.jp/nyubou-bunka/>



## 乳房文化研究会って何？

思春期、妊娠・出産期、閉経期などの女性のターニングポイントに大きな変化をみせる乳房をはじめ、女性の「からだ」と「こころ」をとりまく興味ある研究テーマを、多角的にとりあげています。医学、生物学、社会学、文化人類学、心理学、被服造形学、芸術など、さまざまな分野で活躍する専門家が集まり、専門分野からの提案や境界領域の問題についての情報交換をおこない、さらに各方面からの話題提供を受けながら、より広くより深く活発な議論を展開しています。

### ワコールスタディホール京都 [(株)ワコール 新京都ビル内] アクセスマップ



会場へは、公共交通機関をご利用ください。

※JR・地下鉄・近鉄「京都駅」八条口から徒歩8分  
※当ビルに、駐車場はございません。

所在地  
〒601-8506 京都市南区西九条北ノ内町6

### ※お申し込み方法 (会場聴講ご希望の方のみ)

下記申込書をご利用いただくか、住所、氏名(学生の方はその旨)、「**会場参加希望**」とご記入のうえ(複数申込みは各々の連絡先をご記入いただき)Eメール、FAX、または郵送、ハガキにて下記事務局へお申し込み下さい。

**お申込み順**に参加証を送らせていただきます。(定員30名になり次第、締切)  
※お申込みに関する書類は、次回研究会のご案内をさしあげますまで厳重に保管し、終了後適切に破棄いたします。

※コロナ感染拡大状況等によりオンライン配信のみとなる場合もあります。

### 送付先：乳房文化研究会 事務局

〒601-8530 京都市南区吉祥院中島町29 (株)ワコール 内 e-mail nyu-bun@wacoal.co.jp / FAX 075-682-1037

## 参加申込書

定例研究会「コロナ時代が変える マザリング(mothering)・ファザリング(fathering)」

(2021年10月23日(土)開催) **会場参加希望**

●お名前

学生の方は「V」印をして下さい

●ご住所 〒

e-mail nyu-bun@wacoal.co.jp / FAX 075-682-1037